

ひとりで悩まないで！

「中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会」

九州でも相談ができます

中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会

九州支部準備会世話人 **峰平あけみ**

連絡先番号 **070-5401-6994**

「奇跡の鉱物」高い断熱性や耐久性から、かつてそう呼ばれたアスベスト(石綿)。その微細な繊維を吸い込んだことによる健康被害が広がっています。

アスベストはその有害性から、「静かな時限爆弾」とも呼ばれています。吸引後、約 20 年～40 年もの潜伏期間を経て、肺がんや中皮腫（肺膜・腹膜・心膜）、などの重篤な疾病を引き起こす恐ろしい鉱物です。多くの人々が、死を招くかもしれないリスクを認識せずに、いつの間にかこの微細な物質を吸い込み、長い潜伏期間を経て帰らぬ人になっています。咳が続き、体調不良を感じて受診した時にはすでに発症、早い進行に患者も家族も何かなにやら分からない内に、どんどん悪化。呼吸も出来なくなっていく・・・。

アスベストの有害性を認識した欧米諸国は、1975 年以降使用を中止しましたが、日本は対応が遅れ、2006 年に漸く、原則全面禁止になりました。1960 年代には、石綿製造企業幹部や国の行政担当者は有害性を認識していたにもかかわらず、使用を続行させました。アスベスト建材メーカーは会社の営利目的で、国は経済成長を優先し、アスベスト建材を奨励し続け、建設業に被害が続出しました。これはまさしく、企業と国に責任のある公害です。

私の夫も、悪性胸膜中皮腫により、三年前に亡くなりました。53 歳でした。建設会社の現場監督として、「地図に残る仕事」と誇りを持って仕事に励んでおりました。入社してから 40 数カ所の現場にかかわる内に、吸い込んだ時限爆弾が、20 年あまりの潜伏期間を経て爆発したのでしょう。「無念だ」との言葉を残して逝ってしまいました。

二年あまりの闘病生活は、痛みと呼吸困難で壮絶なもので、どんどん進行していく病状に、家族も訳が分からず、オロオロするばかりでした。その頃、福岡には患者会も相談できる窓口もなく、孤立した状況で、とても辛い思いをしました。その後、自力で東京のアスベストセンターを見付け、「中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会」に行き着き、いろいろアドバイスを受けるに至りました。当時、福岡に患者会があったなら、せめて、東京の患者会の存在を知っていたら、私達はあんなに途方に暮れることはなかったのではないかと思います。

2005年にクボタ・ショックが起き、公害としてのアスベスト被害が明らかになりました。(兵庫県の尼崎市のクボタ旧神埼工場の周辺住民らに、健康被害が出ていた事が発覚) 労災の適用外となる患者や遺族を支援するため、2006年に石綿健康救済法が施行されましたが、認定基準が厳しく、救済はなかなか全面救済にはなっていません。それでも、そのアスベスト新法による認定は年間 3,000 人超にのぼり、これから半世紀は被害が継続し、水俣病を上回る戦後最大の産業災害となるのは確実といわれています。

「中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会」は日本で初めて、中皮腫の患者本人が参加する全国的な患者会として、2004年に設立されました。この会は、アスベスト疾患(中皮腫・肺がん・石綿肺・石綿胸膜炎・良性石綿胸水・びまん性胸膜肥厚など)になった患者とその家族が主体となって構成されています。現在は、全国11箇所に支部があり、患者と家族同士の交流の場を作り、労災認定や環境災害の救済のお手伝いをしています。

公害としてのアスベスト被害が明らかとなったクボタ・ショックから6年が経過しましたが、アスベスト被害はこれからさらに拡大が予想されており、九州においても被害者の掘り起こしと救済の課題は急務です。特に北九州は、鉄道・造船・港湾・建設・鉄鋼などのアスベストを大量使用してきた企業や、アスベスト製品を製造していた企業が多数ありますが、被害者の救済はまだ進んでいません。そこで、九州でも、被害者の掘り起こしと救済のため、福岡で相談会や講演会を開催し始めました(2009年12月・2010年7月・2011年1月・2011年7月・2012年1月)。九州にはまだ支部が出来ておらず、準備会の段階ですが、現在九州支部設立を目標に活動しています。

会の活動の柱

- ①病気になる者とその家族同士の交流の場づくり
- ②原因を明らかにする事を通じて、労災保険の適用あるいは環境災害としての救済のお手伝い
- ③患者と家族のおかれる実情を十分調査し、医療関係者と行政関係者と関連する企業へその声を伝える

以上の3点を柱に活動を進めています

お願い

私達の活動にご理解をいただき、アスベスト疾患の患者さんがいらしたら、この会の事をお伝えいただけないでしょうか?患者さんとその家族で作っている会です。ひとりではありません。同じ思いを共有出来る仲間として、救済のお手伝いが出来る会としてご紹介下さい。

中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5階

中皮腫・じん肺・アスベストセンター内

中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会

電話番号：03-5627-6007

FAX：03-3683-9766